

答弁書第二号

内閣参質一一第二号

昭和六十二年十二月二十五日

内閣総理大臣 竹 下 登

参議院議長 藤 田 正 明 殿

参議院議員志苦裕君提出在日米軍に対する連絡官派遣状況に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員志苦裕君提出在日米軍に対する連絡官派遣状況に関する質問に対する答弁書

日本国内に駐留している米軍の部隊、機関等が所在する施設において、現在勤務している自衛隊員は、別表のとおりである。

別 表

施 設 名	人数（所属・最上級者の階級）	最初に勤務するようになった年月日	目 的
横浜ノース・ドック(横浜市)	16名（陸上自衛隊中央輸送業務隊・1等陸尉）	昭. 30. 10. 1	FMS等関連業務
横須賀海軍施設(横須賀市)	7名（海上幕僚監部及び自衛艦隊司令部・1等海佐）	昭. 54. 10. 2	在日米海軍との連絡調整
横田飛行場(福生市)	2名（航空幕僚監部及び航空総隊司令部・1等空佐）	昭. 61. 7. 16	在日米空軍との連絡調整

(注) 1 昭和62年11月30日現在

2 FMS(有償援助)とは、米国政府が武器輸出管理法に基づき、友好国政府等に対して、有償で行う軍事援助をいう。